

箕面船場はきっと面白いまちになる



ひとまちま～るくつながる  
エリアマネジメント

箕面船場まちづくり協議会

## 人 箕面船場まちづくり協議会の歩み

- 2014年3月31日 北大阪急行延伸合意発表
- 2015年6月17日 大阪大学キャンパス移転発表
- 2017年2月10日 大阪大学キャンパスデザイン部門  
と初会合
- 2017年3月26日 箕面船場まちづくり研究会  
キックオフフォーラム開催  
参加者：予想新校区自治会・  
管理組合、地域団体、  
大阪大学関係者
- 2017年4月16日 箕面船場まちづくり研究協議会  
発起人会 予想新校区7自治会
- 2017年6月25日 箕面船場まちづくり研究 第2回フォーラム開催  
テーマ：箕面船場地区全体の将来と船場東の再開発を考える
- 2017年11月26日 箕面船場まちづくり研究 第3回フォーラム開催  
テーマ：まち歩き～船場東地区先行開発エリア
- 2018年3月21日 箕面船場まちづくり研究 第4回フォーラム開催  
テーマ：年度総括～地域ソリューションの仕組みづくり～
- 2018年6月1日 大阪大学と社会学共創クラスター参画への協議
- 2018年7月15日 箕面船場まちづくり研究協議会・稼働推進会議  
⇒箕面船場まちづくり協議会 発足
- 2019年3月24日 第5回箕面船場まちづくりフォーラム開催



箕面船場エリア小学校区現行区分図

## 人 協議会の主要活動

いま、わたしたちのまちが、大きく変わろうとしています。まちの造りが激変します。まちの居住者・利用者が大きく変わります。わたしたちにはどのようなプラスの効果、マイナスの影響があるのでしょうか。新しい人の交流は何を生むのでしょうか。箕面船場まちづくり協議会は、子育て、文化、交通、防災の分科会を設け、※ 安心・安全なまちづくり、創造性豊かなまちづくり、誰もが楽しく個性を発揮できるまちづくりを考えています。



※分科会のご案内は中面をご覧ください。



# 大阪大学箕面新キャンパスと社会学共創構想

## 箕面新キャンパス構想

大阪大学は、現箕面キャンパス(栗生間谷、2007年9月末まで大阪外国語大学)の外国語学部と日本語日本文化教育センターが中心となって移転する新キャンパス(学生数、約3000人)を、箕面船場阪大前駅の駅前再開発街区の中に建設中です(2018年12月着工、2021年春オープン予定)。大阪の中心部や豊中・吹田キャンパスとの交通が便利になるので、大阪大学の交流の中心となることが期待されており、下記の3テーマをもっており運営体制を含めた検討を進めています。

- 文化と言語の多様性を活かし、  
周辺地域と協調してともに発展する 「グローバル※<sup>1</sup>キャンパス」
- 地球と人に優しい未来志向の 「サステイナブル※<sup>2</sup>キャンパス」
- 文理融合の新しい産学官民連携を実現する 「スマートキャンパス」

隣接する箕面市の文化施設には、大阪大学が運営を担う図書館と生涯学習施設も設置され(他に市民ホール...運営:(株)キョードーファクトリー)、特に図書館は、大学の外国語図書館としての機能を合わせもちます。

- ※<sup>1</sup> グローバル:グローバル(世界的な)とローカル(地域の)を合わせた造語。
- ※<sup>2</sup> サステイナブル:「持続可能な」の意味であるが、省エネ・省資源にとどまらず社会との関係や経済、経営、防災等を含めた幅広い意味での持続可能性として捉えている。



## 社会学共創本部の取り組み

新キャンパス構築にあつては、建物を作って引っ越しするだけではなく、地域のみなさまとの対話と協調を通じて、地域の発展に寄与できてこそ真の成功といえるでしょう。大阪大学社会学共創本部では、学外の諸機関や諸団体との共創の場として社会学共創クラスター制度を設けています。社会学共創クラスターの目的は、諸機関・諸団体が抱える課題と大阪大学のさまざまな研究とを編みあわせることで、諸課題への解決の糸口を探求し、各種の共創事業や共同研究、人的交流を生み出すことです。



## 「マンスリー多文化サロン」

多くの外国人が暮らす箕面市では、個々の多文化交流の取り組みが行われていますが、それらを発展させるためには、まとまった活動を組織的かつ定期的を実施していく必要があります。そこでクラスターの一つである「阪大外国語学部×みのお市民活動センター マンスリー多文化サロン」では、外国語学部とみのお市民活動センターとの共創を基盤として、市民の相互交流による国際理解の活性化と多文化共生の促進を図ります。目指しているのは「箕面から世界へ、世界から箕面へ」です。



## 「箕面船場まちづくりプロジェクト」

もう一つの別のクラスター「箕面船場まちづくり・エリアマネジメントプロジェクト」が活動しています。現時点では箕面船場まちづくり協議会の主要メンバーと大学教員で構成しており、大阪大学箕面新キャンパス整備移転に関連して、地域の諸課題(子育て、環境・防災、交通、文化等の個別テーマを含むまちづくり)に関する協議と解決へ向けた対話を進めて検討協力を行っています。今後、これらの諸課題を大学へ繋ぎ、解決への足がかりを作っていくことを目指しています。

## 「第5回箕面船場まちづくりフォーラム」レポート

第1回のキックオフフォーラムが開かれたのが2017年の3月26日。それから丸2年が経ち、このたび協議会として、これまでの活動の中間報告ができました。開催にご協力頂きました大阪大学から永田副学長、大内外国語学部長はじめ関係される方々にご出席頂き、この箕面船場地区のまちづくりの



新しい息吹に熱気あふれる会場

先進性について、専門知の立場から会場に向けて熱く語って頂きました。会場には地域住民の皆様のほか、大阪船場繊維卸商団地協同組合、北大阪急行電鉄(株)をはじめとする企業、諸団体の皆様にもご参加頂き、盛況のうちに本フォーラムを終えることができました。この成果をバネにまちづくり活動をより積極的に進めてまいります。今後共なお一層のご理解、ご支援をお願い申し上げます。



永田副学長より総括



今後ともまちづくりの情報を定期的に発信してまいります。

- あなたのご意見が住み良いまちをつくれます。
- 4つの分科会へお気軽にご参加ください。

まちづくり活動に参加ご支援をお願いします。

ご意見・お問い合わせはこちらへどうぞ

## 箕面船場まちづくり協議会

〒562-0035 箕面市船場東1丁目8-51-302 モンリベルテ箕面 <http://minohsemba.ehoh.net/>  
TEL 090-3165-7356 / FAX 0120-015-672 / E-mail cyn01366@nifty.com

2019年(令和元年)5月1日発行 発行人 小林利彰



# 知力を集めて40年目の変身 箕面船場が拓く 新しい

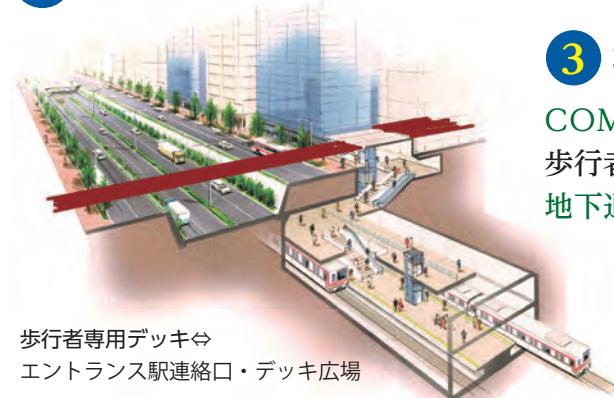
## 1 市立病院 2024 年度移転

COM 1 号館+新船場北公園(調整池)の跡地に立替移転されます。北大阪急行の箕面船場阪大前駅～箕面萱野駅間の地上部口のすぐ東側になります。

2027 年度小・中学校が現市立病院跡に開校予定です。



## 2 箕面船場阪大前駅(M07) 2020 年度内開業



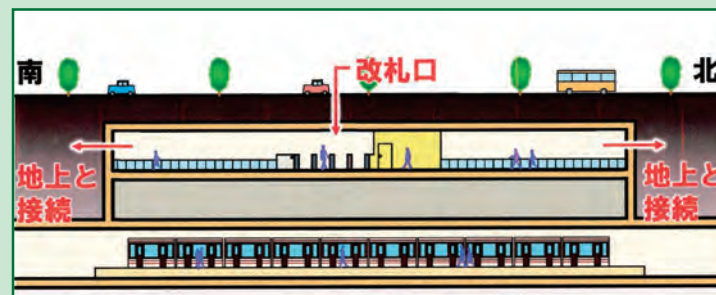
## 3 北出入口

COM 2 号館前  
歩行者階段より  
地下通路に接続



## ◎安全のポリシー

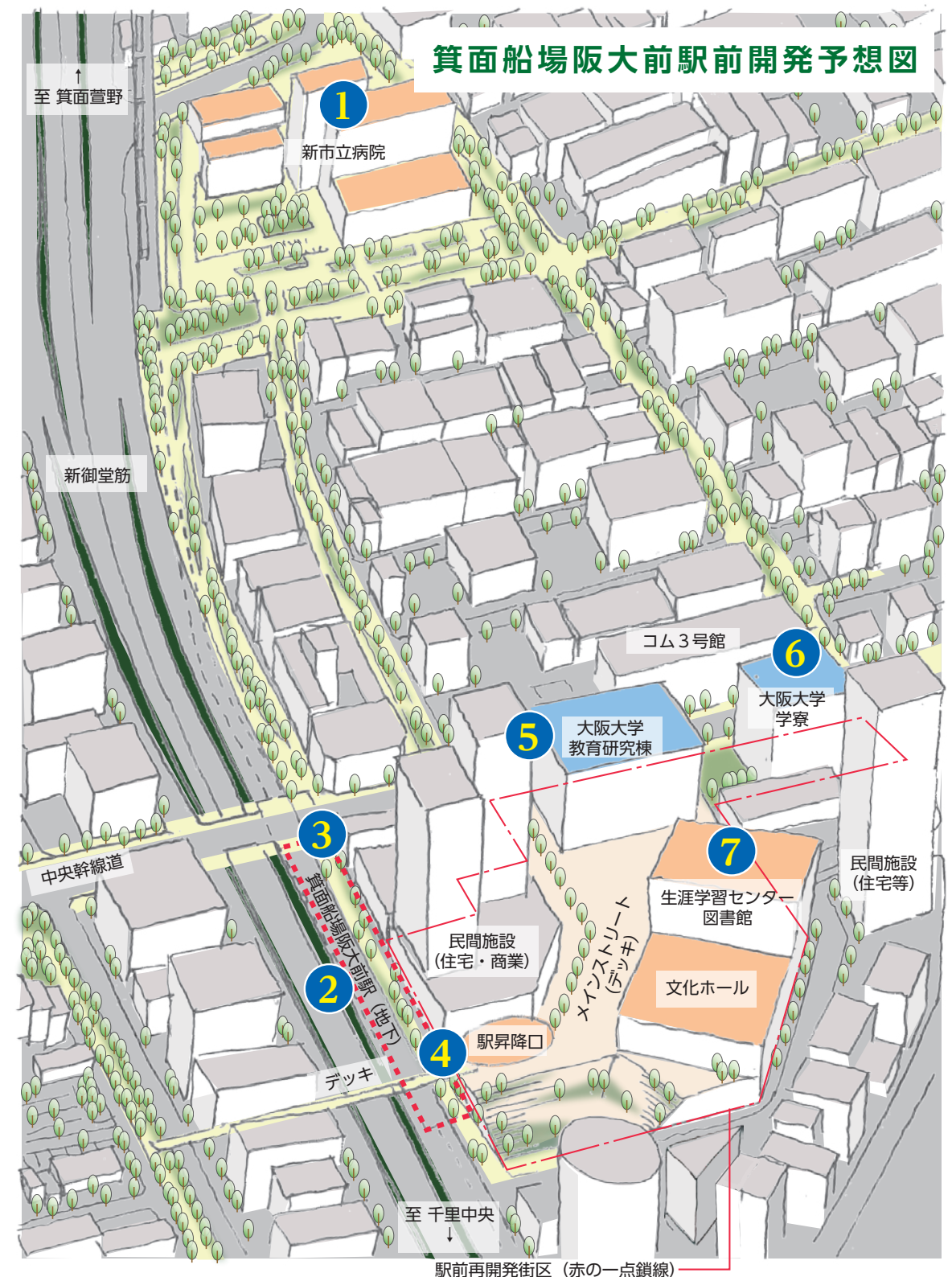
北大阪急行南北線は全駅に可動式ホーム柵を設置済です。新駅にも設置予定です。



## 4 南出入口 エントランス

歩行者 2 階デッキ 1 階地上部  
昇降機・エスカレーター及び階段で地下通路に接続  
自転車 計 1458 台

うちデッキ下駐輪場  
自転車 950 台、原付 496 台  
うち駅舎機械式駐輪場  
自転車 508 台



この絵は箕面船場まちづくり協議会が独自に制作した完成予想図です。



# まちの進化論

**大阪大学**   
**外国語学部**  
**日本語日本文化**  
**教育センター**  
**2021年4月**  
**移転開学**

**⑤ 教育研究施設10階建て**  
 教職員 200名  
 学生 3,000名(留学生300名)



**⑥ 学寮12階建て**  
 1階店舗2階～324室  
 学生300名(留学生240名)



**新文化ホール**  
**図書館・ **  
**生涯学習センター**  
**2021年4月開館**



**⑦ 新文化ホール**



**地下駐車場**  
 自動車116台 自動2輪86台



大ホール 1,400席



5～6階 生涯学習センター



小ホール 300席



1～4階 図書館  
 萱野南図書館移設分＋  
 大阪大学蔵書合計71万冊

## 箕面船場まちづくり協議会 分科会のご案内

### 文化分科会

「文化力のあるまち」を目指します！

- 学びに優しいまち
- 感性を刺激し、創造性豊かなまち
- 多様な個性が交わるまち
- 熱いコミュニケーションのできるまち

トータルで  
「文化力  
あるまち」



### 子育て分科会

私たちの想いを、みなさまへ

- こども達のつながりを大切にします
- 大阪大学とともに新しい学びの仕組みを作ります
- 地域とともに新しい学びの仕組みを作ります
- 「赤ちゃん学」の拠点を目指します



### 交通分科会

駅を中心とした交通事情が変わります

- 交通大動脈の延伸で広域移動がもっと楽に！
- 利用される人への安全と優しさを考えます
- 周辺の通行秩序と、接続を考えます
- 新市立病院へのアクセスを考えます



### 防災分科会

「共助」のエリアをつくります

- 防災拠点が身近にあるまち
- 普段から親密なコミュニケーションのあるまち
- 大学、地元企業、住民全体で考えるまち
- 防犯や、見守りの互助が広がるまち

